烏峠（からす）展望所からの眺望（御所浦町）
御所浦島の烏峠（標高442m）の展望所からは、東に九州山地、西は天草諸島、北西には雲仙普賢岳を一望できます（写真は天草諸島の眺望）。景観のすばらしさはもちろんのこと、天草の地形の成り立ちを知ることができる貴重な場所です。

日本ジオパークに認定！

天草ジオパーク AMAKUSA GEOPARK

８月28日、『天草ジオパーク』が日本ジオパークに認定されました。
平成21年に認定された「天草御所浦ジオパーク」の範囲を、天草地域２市１町に広げて新たに認定を受けたものです。
今号では、ジオパークの概要をはじめ、天草ジオパークの特徴や魅力、現在行われている取り組みなどについてお知らせします。

GEOPARK 知る

ジオパークとは

ジオパークとは、〝地球〟の成り立ちがわかる貴重な地層や岩石、地形などをはじめ、これらに関連する動・植物や歴史・文化などを見どころにした、自然公園のことをいいます。地球や大地を表す〝Ｇｅｏ（ジオ）〟と、公園を意味する〝Ｐａｒｋ（パーク）〟をあわせた言葉で、「大地の公園」「大地を学ぶ、楽しむ公園」ともいわれています。

平成16年に、地質学的遺産の保護と国際的な認定などを目的に、ＵＮＥＳＣＯ（ユネスコ）（国連教育科学文化機関）の支援により世界ジオパークネットワーク（ＧＧＮ）が発足。このような自然公園を審査して認定する仕組みができました。

日本では、平成20年に国内の認定機関として日本ジオパーク委員会（ＪＧＣ）が発足。翌年には、認定地域や認定を目ざす地域などで組織する、日本ジオパークネットワーク（ＪＧＮ）が設立されました。

現在（８月28日現在）、国内では島原半島（長崎県）や洞爺湖有珠山（とうやこうすざん）（北海道）など６地域が世界ジオパークになっているほか、おおいた豊後大野や霧島など30地域が、日本ジオパークに認定されています。

『天草ジオパーク構想』

「天草御所浦ジオパーク」の取り組みと並行して平成22年12月、天草地域２市１町の行政や議会、住民代表、観光団体などで組織する〝天草ジオパーク構想推進協議会〟が発足。天草地域全体のジオパーク認定を目ざす『天草ジオパーク構想』がスタートしました。

同協議会では、ジオサイト（ジオパークの見どころとなる場所）の調査・選定をはじめ、ガイドの養成や講演会を開催するなどして、認定に向けた取り組みを推進。今年３月に日本ジオパーク委員会へ認定を申請し、その後、プレゼンテーション（口頭説明）や現地審査が行われました。

同委員会では、天草ジオパークは天草ならではのジオツアーが楽しめ、ガイドの養成システムも整いつつあるとして、日本ジオパークにふさわしいと評価。天草ジオパーク構想のスタートから約４年の歳月をへて、認定を受けたものです。

認定を祝して“くす玉割り”

８月28日、天草ジオパークが日本ジオパークへ認定されたとの一報を受けて、市役所本庁では同協議会会長の中村市長をはじめ関係者ら30人が参加して、“くす玉割り”を実施。会場は祝福ムードに包まれました。

▲くす玉を割る関係者ら